

新入生の皆さん「卒業は人生の通過点でしかありません」。「エッ？これって新入生を迎える言葉？卒業生に贈る言葉の間違いないの？」。決してそうではありません。卒業するためには、社会に出てから伸びるための勉強してほしい。そのことを入学したばかりの皆さんにご伝えておきたいのです。大学は、どんな時代でも、どんな境遇でも、強く、たくましく生き抜ける力を身につけることです。これからの社会が目指している方向性は「Well-being」。それは、身体的・精神的・社会的に良好な状態と定義され、自己実現が保証された幸福を意味して

## 卒業は人生の通過点 「語れる」経験を積み



学長 長 健一  
成田 健一

います。まさに自己実現を叶えるための力を社会に出る前に身につける、それが大学生活の本質的な意義なのです。日本の大学生は勉強しない、と言われることがあります。その理由は、アメリカな

勢で学び続ける「学習歴」をいかに大学時代に積んできたか、であるとも言われています。大学生生活の過ごし方次第で、「高い次元への飛翔」が十分可能なのです。そのことを念頭に、皆さんにいくつかのお願いをしたいと思います。まず一つ目は、勉強に対する意識の刷新です。単に答えを出すという次元から、あらゆる可能性を求め、いくつもの手立てを打てるようになること、それこそが大学での学びの目的です。二つ目は、多くの人とつながることを心がけること。社会で生きるといえるのは、全く異なる他者と共存するということです。他者の心のひだま

でを感じ取り、自分の考えを整理し、相手に伝わるように適切な言葉で発信していく力。それを身につけ、相手の意見を尊重できるようにすると、生きることがとても楽になり、自らも確実に成長できます。最後に、他人の目を気にせず、はみ出しても動じない心、周囲から「外れる勇氣」を持つこと。そのマインドを持たないと、何も始まりません。大学時代は、新たな次元に足を踏み出す時です。「夢中は努力に勝る」それが本学のモットーです。授業だけでなく、多様なプログラムにひたすら取り組む経験を通して、「語れる」経験をたくさん積んでくれることを願っています。